

多職種連携推進・研修部会の第2回研修会の開催



2019年10月18日

第2回多職種連携研修会

さる10月18日上越市市民プラザ第1会議室にて第2回多職種連携研修会を開催しました。

31名の受講者からご参加いただき、退院前カンファレンスにおける地域連携連絡票の活用について話し合いを行いました。

○第2回研修会内容

【テーマ】退院前カンファレンスについて学ぶ

第2回研修会では、退院前カンファレンスの目的や意義についての講義を行いました。また、退院前カンファレンスのイメージを持っていただくため、受講者の方も含めた14名で職種を配役し、地域連携連絡票を用いた模擬退院前カンファレンスを行いました。

その後グループワークを行い、本人・家族が安心して退院できるようにするために大切だと思うこと、退院前カンファレンスで地域連携連絡票をどのように活用していくことができるか等について話し合い、以下の意見が出ました。

～ グループワークから ～

- 退院に向けて「困ったことがあったら〇〇に連絡ください」など、具体的な一言が本人・家族の安心につながると思う。
- 入院中から外出や外泊を行い、本人・家族・支援者が「これまでの生活」と「これからの生活」をつなげるイメージが持てると良い。
- 病院側と地域の支援者間で、入院中から少しずつ情報共有をしていけると良い。そのためには、病院内の連携を強めていく必要もあるだろう。
- 地域連携連絡票は情報量が多くて分かりやすいが、随時更新を加える手間を考えると、作成する介護支援専門員の負担が大きいと思う。支援者が連携して作成すると良いのではないか。
- 入院前と退院時の地域連携連絡票を見比べることで、何ができて何ができないのか、何をいつまでにできるように支援をするのかを把握できて良い。

いずれも、各専門職の立場や日々の業務の経験から、よりよい連携の形を作るための多くの意見や提案が聴かれました。

○第3回研修会のご案内

11月15日(金) 19時から20時30分
上越市市民プラザ第3会議室

第3回は、「在宅サービス担当者会議について学ぶ」をテーマに、地域連携連絡票を用いた模擬担当者会議を行います。